



大きくなって帰ってきてね!



▲願いを込めて放流する中沖小学校の児童

5月22日(金)、東串良町の柏原海岸で、中沖小学校の児童23名(2年生12名、3年生11名)が『ヒラメの稚魚の放流体験』をしました。

はじめに、東串良漁業協同組合内で、鹿児島県大隅地域振興局の水産担当職員によるヒラメの旬な時期の紹介や、カレイとの見分け方などの説明が行われました。

その後、柏原海岸へ移動し、漁協職員から稚魚の放流の仕方について、「稚魚はとってもか弱いから優しく放流してね。」と説明がありました。参加した児童らは、海へ向かって泳いでいく稚魚たちに「大きくなって帰って来てね!!」と声援を送っていました。帰り際には「楽しかったです。」とうれしそうな表情を浮かべていました。

おめでとうございます! 長年の功績を称えて

5月22日(金)、^{きよくじつそうこうしょう}『旭日雙光章』を受章された原口博光さん(菱田公民分館長)が、町長へ表敬訪問に来られました。原口さんは、5月13日に天皇陛下より叙勲を受け、『旭日雙光章』を受章されました。この『旭日雙光章』は、地方自治の振興などに著しく寄与された方へ贈られるもので、町議会議員・町農業委員会委員・菱田公民分館分館長などの役職を歴任し地方自治の発展に尽力されたことが認められました。原口さんは、「大変光栄に思います。自分がやってきたことに間違いはなく、受章できたのはひとえに町民の皆様のおかげです。とても嬉しく思います。」と話されました。



▲表敬訪問に来られた原口博光さん(中央)と妻の康子さん

第30回を迎えました! 福祉スポーツ大会



▲ゴール直前でラストスパートをかける選手

5月26日(火)、町総合体育館において、『第30回大崎町合同福祉スポーツ大会』が開催されました。

本大会は、高齢者をはじめ、心身に障がいのある方や母子寡婦家庭などの方々がスポーツを通じてお互いの連帯感を深め、ぬくもりに満ちた地域社会づくりを図る目的で行われるものです。

選手宣誓を務めた宮内徹さん(大崎町身体障害者連絡協議会)は、「お互いの親睦と交流を深め、ケガもなく楽しく競技することを誓います。」と力強く宣誓されました。体を寄せ合ってボールを落とさないで走る『二人で仲良く』や、風船をお尻で割る『ケツ圧測定』などのユニークな競技が行われ、参加者からは笑顔がこぼれました。